

2014 年 3 月期第 2 四半期決算説明会 主な Q & A

[営業費用・設備投資の水準]

Q： 「グループ経営構想V『今後の重点取組み事項』」の策定などもふまえ、今後の営業費用・設備投資（全体）・安全投資の水準についてどのように考えているか。

A： 当社を取り巻く環境変化にしっかりと対応し、必要な施策を推進するとともに、費用や設備投資の計画を策定していきます。

なお、従来どおり、今期の期末決算発表時に、2016 年度までの新たな 3 カ年計画を公表します。

[技術革新とダウンサイジング]

Q： 技術革新をさらに加速させることで、ダウンサイジングを進め、メンテナンスコストなどを抑える取組みを大胆に進めていく考えはあるか。

A： 戦略的な観点からのダウンサイジングは、以前から地道に進めており、低稼働設備の撤去や設備のスリム化などを実現してきました。

ICT の活用などの技術革新も含め、今後もコストダウンの努力を続けてまいります。

[2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催を見据えて]

Q： 2013 年 10 月 29 日に発表された「グループ経営構想V『今後の重点取組み事項』」に盛り込まれた「オリンピック・パラリンピックの開催に向けた準備の推進」とは、具体的にはどのようなことを行っていくのか。

A： 具体的な計画は今後検討を進めていきますが、「①安全かつスムーズ・快適な移動サービスの提供」、「②東京圏の観光流動活性化と地方への誘客」、「③ターミナル駅開発の推進による東京の魅力向上」という 3 つの観点から、当社にできることを実行していきます。

今後、検討課題を洗い出し、開催期間後のことも考えながら、対応方針や実施可能性などを検討のうえ、2020 年に向けて着実に準備を進めてまいります。

以 上